



医療者・患者アドボケート対象

日米エクステンジプログラム



Importance of the Doctor / Patient Relationship

# 日米の視点から見る 患者と医師の関係

PART

2

日本時間

2023年1月29日(日)  
AM10:00~11:30

参加費  
無料

米国時間: 1月28日(土)

17:00~(PST)/18:00~(MST)/19:00~(CST)/  
20:00~(EST)/15:00~(HST)

オンライン

Zoomウェビナー



&lt;スペシャルゲスト&gt;

ガブリエル・サラ医師

テーマ

## 「患者の尊厳、家族の理解、医療者の介入」

2021年12月に開催した「日米の視点から見る患者と医療者の関係」PART1では、アメリカの医療現場で働く医療者たちに話を伺いました。PART2の今回は、日本で働く医療者、患者アドボケートも加わり、「患者の尊厳、家族の理解、医療者の介入」をテーマにオンラインでディスカッションします。スペシャルゲストとして2022年秋に、日本で公開されたフランス映画「愛する人に伝える言葉」に出演されたガブリエル・サラ医師も迎え、患者とコミュニケーションするうえで大切にしていることをお話しいたします。

### Discussion

【スペシャルゲストインタビュー】(日本語字幕)

ガブリエル・サラ 医師

【ゲストインタビュー】(日本語字幕)

ベス・フリードランド 氏(乳がん経験者)/ジョンシュー・リウ 氏(ケアギバー)

【キャタリスト】

🇯🇵 佐々木 治一郎 医師/永井 都穂美 看護師(乳がん経験者)/仲本 典明 氏(ケアギバー)

🇺🇸 白井 敬祐 医師/河面 育子 看護師

【キャタリスト/モデレーター】

清水 佐紀 氏(婦人科がん経験者)

### Opening Remarks

SHARE Cancer Support/CEO&amp;エグゼクティブディレクター

キャロル・エヴァンス CEO

お申し込みはこちら

<https://forms.gle/kyMYSnxxrUAhzRWR8>

締め切り

日本時間 2023年1月26日(木)22:00

※お申し込みいただいた方は、期間限定でアーカイブ配信をご視聴いただけます。

※2021年に開催したPART1の動画は、2023年1月31日まで、下記よりご視聴いただけます。

[https://www.youtube.com/watch?v=o5-pVV\\_hRil](https://www.youtube.com/watch?v=o5-pVV_hRil)特設サイトはこちら ▶ <https://www.cancernet.jp/online230129>

主催: SHARE Cancer Support / Japanese SHARE

協賛: Daiichi Sankyo, Inc.

協力: 認定NPO法人キャンサーネットジャパン



## Special Guest



**ガブリエル・サラ 医師**

腫瘍血液内科専門医  
ニューヨーク、マウント・サイナイ・ウェスト病院医療部上級指導医、  
化学療法病棟の医長兼、患者サービス部門顧問として  
2022年まで勤務

引退後の現在は、夫人と一緒にさまざまな慈善団体にも参加。2022年に日本公開されたフランス映画「愛する人に伝える言葉」(エマニュエル・ベルコ監督/2021年)では、がんで余命宣告を受けた主人公に寄り添う医師、ドクター・エデの役で出演。

## Guest



**バス・フリードランド 氏**

乳がん経験者  
ライター、映画プロデューサー、教育学修士

2021年の8月に乳がんの告知を受ける。両側乳房切除術と再建手術、3ヶ月間の抗がん剤治療、9ヶ月間の免疫療法を経て、2022年11月に治療を終了。現在は、乳がん患者サポートを目的に、SHAREでヘルプラインボランティアのトレーニング受講中。8歳男児の母。



**ジョンシュー・リウ 氏**

ケアギバー  
ニューヨーク州立ナッソーコミュニティカレッジ 英文科教授

2020年に妻が婦人科がんと診断されて以降、大学で教鞭をとりながら、ケアギバーとして妻のサポートを続ける。SHARE Caner Supportが開催する、ケアギバーのためのサポートグループに参加し、自身の経験を他のケアギバーに役立ててもらおうための活動にも尽力している。

## Catalyst



**佐々木 治一郎 医師**

北里大学医学部 新世紀医療開発センター  
横断的医療領域開発部門 臨床腫瘍学 教授  
医学博士 日本臨床腫瘍学がん薬物療法会専門医・指導医

2000年より、テキサス州MDアンダーソンがんセンターでの3年半の留学を経て、がんの基礎研究・トランスレーショナル研究、がん診療、緩和ケア、がん診療連携、患者支援活動を続けている。モットーは「がんといい病気に立ち向かい、がん患者・家族に寄り添う」。



**永井 都穂美 看護師**

乳がん経験者 / 看護師  
若年性乳がんサポートコミュニティ  
Pink Ring 北海道branch代表

2018年より「ひとりじゃない」「乳がんになったわたしでも大丈夫」そんな安心感を北海道の仲間にも届けたいと北海道支部を設立。同世代の仲間と共に体験や想いの共有を図るおしゃべり会を定期的に開催中。



**仲本 典明 氏**

ケアギバー  
会社員  
乳がん患者パートナー支援団体PAPACOCO代表

32歳の時に、配偶者が乳がんを経験。2022年に乳がん患者のパートナーのための支援団体「PAPACOCO」を立ち上げ、乳がん患者の配偶者を持つ男性を対象に、情報提供や交流の場を設ける活動をしている。

## Catalyst/Moderator



**白井 敬祐 医師**

米国腫瘍内科専門医  
ニューハンプシャー州ダートマス大学がんセンター 腫瘍内科教授  
メラノーマ プログラムディレクター  
肺がん、メラノーマ、臨床試験、トランスレーショナルリサーチ専門

日本で臨床経験後、2002年に米国ピッツバーグ州で一般内科の研修を開始。2008年サウスカロライナ医科大学で血液・腫瘍内科のフェロウシップ修了後、同大学腫瘍内科のスタッフに就任。2015年より現職。コミュニケーション・チーム作りは永遠のテーマ。



**河面 育子 看護師**

メモリアルスローンケタリングがんセンター  
クリニカルナーススペシャリスト  
日米両国の看護師資格を所有  
認定がんナースプラクティショナー

新人当初よりがん看護に携わり、日本赤十字病院、静岡がんセンター勤務後、米国看護師資格を取得し、2008年渡米。イェール大学看護修士課程がんクリニカルナーススペシャリスト科修了後、バナーグッドサマリタン病院、スタンフォード大学メディカルセンターに勤務。2017年より現職。



**清水 佐紀 氏**

婦人科がんサバイバー  
遺伝子治療研究者  
Japanese SHARE ボランティア

日本で薬学を専攻し、医学博士取得後、米国カリフォルニア州のバイオテックに在籍。専門はHIV、レンチウイルス、AAV、遺伝子治療。在職中に卵巣がん、子宮体がん罹患。在米日本人のためのヘルスケアサポート団体FLATJPの代表メンバーとしても活動中。

## Opening Remarks



**キャロル・エヴァンス CEO**

SHARE Cancer Support CEO  
エグゼクティブ・ディレクター  
雑誌ワーキングマザー 発起人

長年にわたり、女性の問題と女性の生活向上のための活動に携わり、2021年にSHARE Cancer SupportのCEOに就任してからは、女性のがん患者のサポート活動や啓発活動、医療格差問題などにも積極的に取り組む。



SHARE Cancer Support  
<https://www.sharecancersupport.org/>

ニューヨークを拠点に1976年から乳がん、婦人科系がん患者さんとそのご家族へのピアサポートと専門家による医療教育を行う、アメリカの団体SHARE Cancer Supportの傘下で2013年から日本語での活動を行っている。



Japanese SHARE  
<https://sharejp.org/>



<http://www.cancernet.jp/>

1991年乳癌専門医により発足。2001年にNPO法人化。がん患者が本人の意思に基づき治療に臨むことができるよう科学的根拠に基づく情報発信を行うことをミッションとして活動。現在は東京と大阪を拠点に、がんについて知る、学ぶ、そして集うを3本の柱として各種がんのセミナーや啓発冊子の制作、教育事業、ピアサポートなどの活動を行っている。

